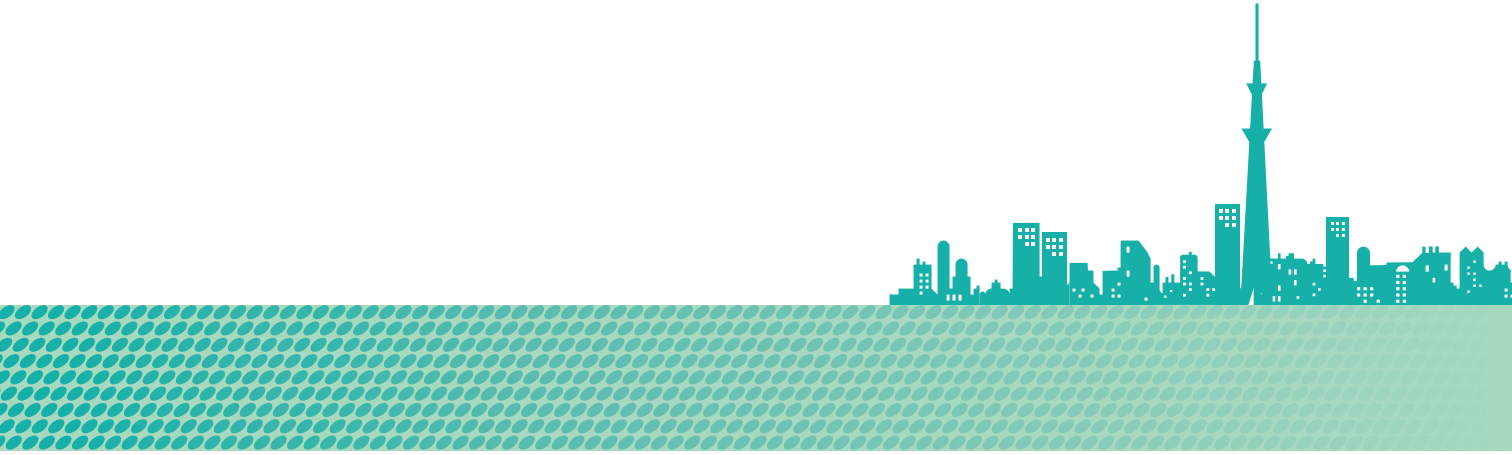
KYOEI STEEL

第68期

中間
株主通信

2011年4月1日 ▶ 2011年9月30日



共英製鋼株式会社

証券コード：5440

Spirit of Challenge

共英製鋼グループは
鉄鋼事業を中核とした
資源循環型事業を通じて
社会と共生し
日本経済と地域社会の発展に貢献する
企業集団を目指します

目次

P.1　株主の皆様へ
P.3　決算情報
P.5　特集：循環型社会を支える環境リサイクル事業
P.8　トピックス
P.10　株式情報／会社情報

株主の皆様へ

回復に向かう国内鋼材需要
一段と気を引き締め、新たな成長軌道を目指します。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

第68期中間期（2011年4月1日から2011年9月30日まで）の業績についてご報告申し上げます。

事業の概況（連結）

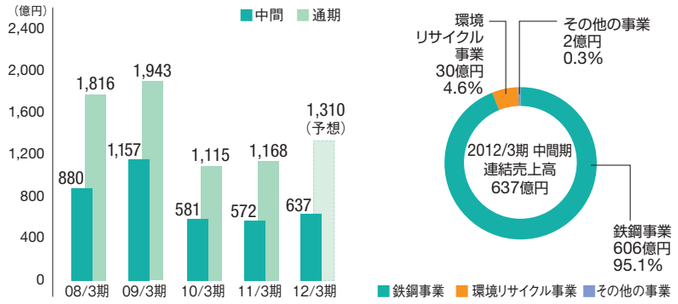
当中間期は、当社鉄鋼製品の主な需要先である建設分野において、東日本大震災の影響により建設工事の見合わせや遅延が生じ、製品需要は当初想定を下回る水準で推移しました。

しかしながら当社は、需要に見合った生産・販売を徹底し、原料価格の上昇を上回る製品価格の引き上げにより、利益の確保に努めました。この結果、当中間期の連結業績は、当初業績予想こそ下回りましたが、連結売上高637億42百万円（前年同期比11.4%増）、連結営業利益6億16百万円（同120.7%増）、連結経常利益9億69百万円（同193.2%増）、連結中間純利益4億46百万円（前年同期は19百万円）となり、前年同期比では増収・増益を達成することができました。

当期の中間配当について

当期の中間配当につきましては、当社グループの今後の事業成長に向けた資金の確保なども勘案しつつ、株主の皆様への安定的な還元を重視する当社の基本方針に基づき、従来予想通り1株につき5円とさせていただきました。

売上高



今後の見通しについて

国内の鋼材需要は回復に向かいつつあると考えられ、下半期の製品販売数量は期初の計画を上回る見込みです。また、利益の源泉であるメタルスプレッド（製品価格と原料価格の差）は、期初の計画と同等の水準を見込んでおります。通期の連結業績では、黒字化達成の道筋が見えてまいりました。

また、かねてより検討中でありましたビナ・キョウエイ・スチール社（ベトナム）における製鋼（電気炉）・圧延一貫工場の増設について、今般ベトナム政府より投資許可を取得いたしました。今後は、遅滞なく工場建設を進め、経済成長が続くベトナムの旺盛な鋼材需要を取り込み、共英製鋼グループの業績向上に資するべく取り組んでまいります。

下半期においても気を引き締め、国内市場での勝ち残りとグローバルな成長を目指します。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2011年12月

代表取締役社長
森田　浩二

決算情報

2012年3月期中間期の連結業績
（2011年4月1日～2011年9月30日）

主な経営指標の推移（連結）

	当中間期（2011年4月1日～2011年9月30日）	前中間期（2010年4月1日～2010年9月30日）	前期（2010年4月1日～2011年3月31日）
売上高（百万円）	63,742	57,203	116,828
営業損益（百万円）	616	279	△ 206
経常損益（百万円）	969	330	△ 85
中間期（当期）純損益（百万円）	446	19	△ 794
総資産（百万円）	151,515	146,289	146,453
純資産（百万円）	119,291	121,044	119,973
自己資本比率（%）	78.1	82.2	81.3
自己資本中間期（当期）純利益率［ROE］（%）	－	－	△ 0.7
1株当たり中間期（当期）純損益［EPS］（円）	10.25	0.43	△ 18.22
1株当たり純資産［BPS］（円）	2,721.43	2,763.33	2,736.83
1株当たり中間（年間）配当金（円）	5.0	5.0	20.0

セグメント別状況

	当中間期（2011年4月1日～2011年9月30日）	前中間期（2010年4月1日～2010年9月30日）	前年同期比（%）
売上高（百万円）	**63,742**	**57,203**	**＋11.4**
鉄鋼事業	60,611	53,934	＋12.4
環境リサイクル事業	2,958	3,114	△5.0
その他の事業	173	156	＋11.2
営業損益（百万円）	**616**	**279**	**＋120.7**
鉄鋼事業	302	△ 109	－
環境リサイクル事業	586	785	△25.4
その他の事業	30	20	＋45.8

セグメント別概況

鉄鋼事業

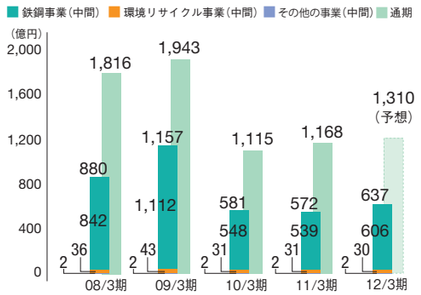
- 製品出荷量は前年同期に比べ若干増加し、利益の源泉となるメタルスプレッド（製品価格と原料価格の差）も拡大しました。
- 売上高606億11百万円（前年同期比12.4%増）、営業利益3億2百万円（前年同期は1億9百万円の損失）となりました。

環境リサイクル事業

- 産業活動の停滞による産業廃棄物発生量の減少や処理単価の下落など厳しい事業環境にありました。
- 売上高29億58百万円（前年同期比5.0%減）、営業利益5億86百万円（前年同期比25.4%減）となりました。

決算情報

セグメント別売上高

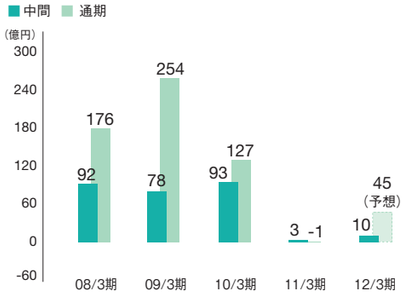


UP
前年同期比
DOWN

鉄鋼事業 **＋12.4%**

環境リサイクル事業 **▲5.0%**

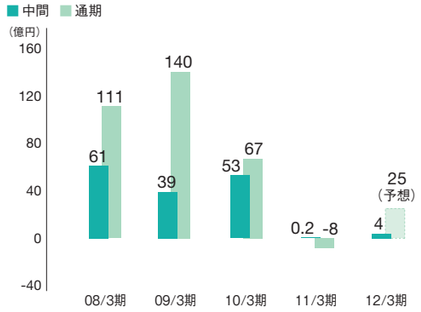
経常損益



UP
前年同期比

＋193.2%

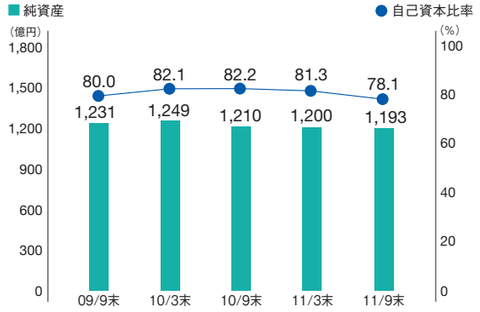
中間期（当期）純損益



UP
前年同期比

前年同期 **19百万円より 4億27百万円増益**

純資産／自己資本比率



DOWN
前期末比

純資産 **▲0.6%**

自己資本比率 **▲3.2ポイント**

特集　循環型社会を支える環境リサイクル事業

7000℃のアーク熱を再資源化に活かす

従来のゴミ焼却炉の平均温度が800℃であるのに対し、
電気炉の炉内平均温度は2000℃。
この電気炉の特性をもっと役立てたい、との発想から、
当社がパイオニアとして20年以上前から取り組んでいるのが、環境リサイクル事業です。

電炉業は想像以上にエコロジカル

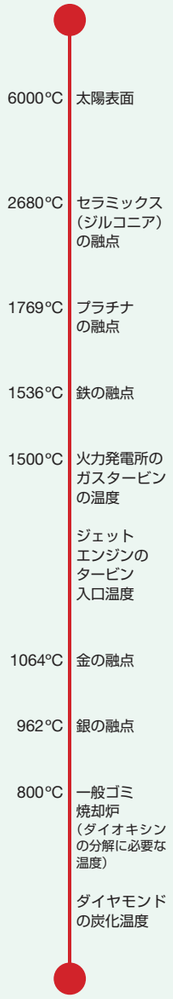
鉄スクラップを電気炉に装入し、高圧高電流を流すことにより溶解。不純物を取り除き、精錬した後、圧延成形して鉄鋼製品へ。これが当社の電気炉による鉄鋼生産の流れです。電気炉製鋼に要するエネルギーは、鉄鉱石を還元して鉄をつくる方法の約3分の1であり、また原料は使われなくなった鉄(鉄スクラップ)である点など、電気炉を使用した鉄鋼業自体が地球に優しい再資源化産業であると言えます。

電気炉の熱をさらに無駄なく使いたい

リサイクル、省エネ、環境保全などの分野における積極的な取り組みをさらに推し進めるうえで当社が着目したのが、電気炉の稼働時に発生するアーク熱。3000℃から7000℃のアーク熱の“超高温”を活かした“溶かす”廃棄物処理は、完全な無害化が可能です。また、発生した排気ガスを急冷することにより、ダイオキシン類の再合成も防ぎます。一方で、鉄スクラップ以外のさまざまな素材が混在する産業廃棄物を処理しながら高品質の鉄鋼製品を生み出すには、高度な技術を用いた電気炉操業管理が不可欠です。当社は1988年に電気炉を利用した医療廃棄物処理をスタートし、日本の電炉メーカーとしては初めて、電気炉を使用した廃棄物処理の事業化に成功しました。

廃棄物処理をトータルに提供できる事業へ

当社グループの環境リサイクル事業は、時代とともに拡大するニーズを映し、医療廃棄物だけでなく、バクテリアを利用した廃飲料水処理や管理型最終処分場での産業廃棄物処理など、さまざまな種類の廃棄物の安全・確実な処理をトータルに提供できる事業へと深化しています。今後も、電気炉を核とした一所完結型の総合リサイクルシステムを通じて、日本の資源再生と環境保全に幅広く貢献していきたいと考えています。



さまざまな温度

❶ 投入
分別や処理炉への投入の際に感染や針刺しなどの事故が発生しやすい医療廃棄物も、回収容器ごと電気炉に投入し溶解することで、事故を防止しています。

❷ 溶解
電気炉に差し込まれた3本の電極から発生するアーク熱。7000℃にも達する超高温によって、鉄スクラップと同時に廃棄物を溶解し、無害化します。

❸ 出鋼
溶解・精錬を終え、電気炉から取り出される溶鋼。廃棄物は完全に無害化され、含まれる鉄分は鋼材として再生、それ以外の成分もスラグ(鉱さい)として回収され、路盤材に再利用されます。

循環型社会を支える環境リサイクル事業
電気炉を核とした共英製鋼のリサイクルシステム

一貫した処理体制による、安全で効率のよいリサイクルシステムを提供

鉄鋼事業で培った溶融技術を、さまざまな産業廃棄物処理に活用する環境リサイクル事業。電気炉から発生する熱の有効活用から始まったリサイクル事業は、電気炉溶融以外のさまざまな廃棄物処理へと拡がり、循環型社会を支えています。

トピックス

共英製鋼の防災への取り組み

名古屋事業所・避難ビル(開発センター)建設

名古屋の臨海地区にある当社名古屋事業所の敷地内に、東海・東南海・南海大地震にともなう津波被害に備え、避難ビルを建設します。

この避難ビルは、防災専門家の意見を参考に、共英製鋼および住友金属工業(株)の防災技術を盛り込み、震度7クラスの大地震と高さ12mの津波に耐え得る構造です。収容人員は300名、事業所で勤務する全従業員と近隣避難者の方々が安全に避難できる設計となっています。

また平時は、同ビルの1、2階部分に備えた250トン荷重試験機、各種試験分析装置などの設備により、超高強度鉄筋を始めとする高付加価値・差別化製品の開発センターとして機能します。

(2012年7月完成予定)

避難ビル(開発センター)完成予想図▶

臨海地区に位置する名古屋事業所▶

コラム 高強度鉄筋

高強度鉄筋は、製鋼時の化学成分調整により強度を高めた鉄筋であり、いまや高層のオフィスビルやマンションでは欠かせない鋼材となっています。通常の鉄筋よりも使用本数が少なくて済むため、梁や柱を細くし、居住スペースを広く取ることができます。

また、高速道路の橋脚や防波堤など、高い安全性を必要とする大型の土木構造物でも当社の高強度鉄筋が活用されています。

トピックス

海外鉄鋼事業の伸張

ビナ・キョウエイ・スチール社がネジ節鉄筋の販売を開始

ビナ・キョウエイ・スチール社（VKS 社）では、今秋より、ネジ節鉄筋の製造・販売を開始しました。

VKS 社は 1996 年の操業開始以来、主に一般住宅向けの一般鉄筋棒鋼を供給していますが、ベトナムでは今後、大規模なインフラ整備や高層ビル建築の増加が予想されるため、高強度の鉄筋接合に適したネジ節鉄筋・継手工法のニーズが高まると判断しました。当社と VKS 社は、ネジ節鉄筋に関する技術支援契約を締結し、技術移転および VKS 社の製造設備改造を進めてきました。

ベトナムで主流の鉄筋の接合方法である重ね継手に比べ、ネジ節鉄筋・継手工法は工期短縮・省力化・安全施工の面において優れており、今後はベトナムのみならず、経済成長の著しい東南アジア地域での普及を図ってまいります。

ネジ筋鉄筋の特長

- ■熟練工でなくとも安全・確実な接合が可能
- ■天候に左右されず、鉄筋組立の工期を短縮
- ■工期の短縮によりトータルコスト削減

製鋼（電気炉）・圧延一貫ライン建設の政府投資許可を取得

当社はかねてより、VKS 社において、新たな製鋼（電気炉）・圧延一貫工場の増設を検討してきましたが、2011 年 10 月に、本件への投資許可をベトナム政府より取得しました。2013 年中の稼働開始を目指し、建設準備を進めています。

この一貫ラインの完成により、VKS 社は現状の年産 45 万トンの生産能力を一挙に倍増し、年産 100 万トン体制を構築します。

▲ライセンス授与式にて
左より当社高島会長、ベトナム・バリアブンタオ省人民委員会副委員長ニェン氏、VKS 社森社長（2011 年 10 月 27 日）

株式情報

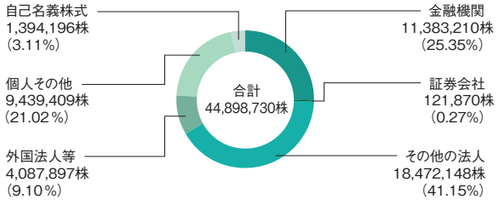
株式の状況（2011 年 9 月 30 日現在）

発行可能株式総数　150,300,000 株
発行済株式総数　44,898,730 株
株主数　3,673 名
大株主

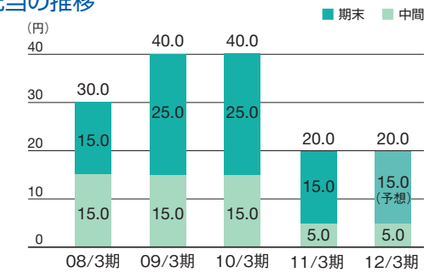
株主名	持株数	持株比率※1
住友金属工業株式会社	11,592,932 株	25.82％
高島　秀一郎	4,675,460	10.41
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（住友信託銀行再信託分・エア・ウォーター株式会社退職給付信託口）※2	2,600,400	5.79
高島　成光	2,233,000	4.97
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,695,300	3.78
三井物産株式会社	1,470,000	3.27
共英製鋼株式会社	1,394,196	3.11
合同製鐵株式会社	1,347,000	3.00
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	952,800	2.12
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口9）	810,800	1.81

※1　持株比率は、小数点第 3 位以下を四捨五入して表示しています。
※2　エア・ウォーター株式会社が保有する当社株式を退職給付信託に拠出したものであり、議決権については同社が指図権を有しています。また、上記以外に同社の 100％連結子会社エア・ウォーター防災株式会社が退職給付信託に係る信託財産として設定する当社株式 692,000 株を有しています。

所有者別株式分布状況（2011 年 9 月 30 日現在）



配当の推移



会社情報

会社概要（2011 年 9 月 30 日現在）

商　　号　共英製鋼株式会社（KYOEI STEEL LTD.）
設　　立　1947（昭和 22）年 8 月 21 日
資 本 金　185 億 16 百万円
従業員数　1,093 名（連結：正社員）
主な事業　（1）鋼片、各種鋼材、鉄鋼製品の製造・加工・販売
（2）一般・産業廃棄物、医療廃棄物の収集・運搬・処分業および自動車リサイクル事業ならびに廃棄物再生資源化事業
（3）鉄筋・ネジ節鉄筋加工と組立工事
（4）鉄鋼製造プラントの設計および鉄鋼製造技術の販売
関係会社　関東スチール（株）
共英建材工業（株）
共英産業（株）
（株）共英メソナ
共英リサイクル（株）
共英加工販売（株）
中山鋼業（株）
ビナ・キョウエイ・スチール社　他

役員（2011 年 10 月 1 日現在）

代表取締役会長	高島　秀一郎	執行役員	中川　文雄
代表取締役社長	森田　浩二	執行役員	平岩　治雄
取締役・副社長執行役員	永田　紘文	執行役員	島　芳弘
取締役・専務執行役員	深田　信之	執行役員	大田　和義
取締役・専務執行役員	緒方　健	執行役員	野﨑　良夫
取締役・常務執行役員	川崎　孝二	執行役員	石原　研二
取締役・常務執行役員	座古　俊昌	執行役員	鳴海　修
取締役・常務執行役員	合六　直吉	執行役員	浅見　茂
取締役・常務執行役員	木村　弘隆	常勤監査役	市原　修二
取締役・常務執行役員	松田　良弘	常勤監査役	家城　保雄
取締役・執行役員	岡田　章	監査役	井関　博文
取締役相談役	高島　成光		
取締役相談役	吉岡　龍太郎		
取締役	青木　弘		

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	毎年6月
基準日	
定時株主総会	3月31日(その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。)
期末配当	3月31日
中間配当を行う場合	9月30日
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社　証券代行部
郵便物送付先	〒183-8701　東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社　証券代行部
電話照会先	0120-176-417
公告の方法	電子公告とします。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引市場	東京証券取引所市場第一部、大阪証券取引所市場第一部
証券コード	5440

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会については、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

Webサイトのご案内

http://www.kyoeisteel.co.jp/

当社Webサイトをリニューアルいたしました。「株主・投資家のみなさまへ」ページでは、決算・財務関連情報や株式関連情報などがご覧いただけます。

IR情報ページ

http://www.kyoeisteel.co.jp/ir/

共英製鋼　検索

メール配信サービス

Eメールアドレスなどをご登録いただいた皆様に、最新の決算情報などをEメールでお知らせいたします。ご希望の方はIR情報ページからご登録ください。

ご注意：

この中間株主通信に記載されている業績の見通し、今後の計画など将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の経営者が合理的と判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、経済動向、市場需要などのさまざまな要因によって大きく変わる可能性がありますことをご承知おきください。

共英製鋼株式会社

〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-16 アクア堂島西館18階

TEL 06(6346)5221(代表)

URL http://www.kyoeisteel.co.jp/